

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月22日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(B)高性能容器関連制御盤の警報発生について】 当社委託員が、現場パトロールの際に、既設多核種除去設備(B)高性能容器関連制御盤の無停電電源装置に、過負荷を示す警報が発生していることを確認。 現場調査の結果、無停電電源装置には問題がなかったことから、無停電電源装置の負荷側に何らかの不具合が発生したと推定。 なお、当該警報のため、既設多核種除去設備(B)は運転を停止したが、既設多核種除去設備(A)(C)の運転は可能であり問題なし。 今後、高性能容器関連制御盤の点検を実施予定。</p>	GⅢ	9月15日
2	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(A)温水循環ポンプグランド部リーク水の配管接続部の腐食について】 協力企業作業員が、6号機非常用ディーゼル発電機(A)の点検において、温水循環ポンプのグランド部のリーク水を排水する配管の取り外しを行った際、配管のねじ込み部が腐食し破断していることを確認。 なお、6号機非常用ディーゼル発電機(B)の運転は可能であり問題なし。 今後、当該配管の修理を実施予定。</p>	GⅢ	9月20日